



松浦市産業振興ビジョン (改訂版)

令和7年4月
松浦市

目 次

第1章 松浦市産業振興ビジョン（改訂版）の策定にあたって

1. ビジョン策定の背景及び目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. ビジョンの位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
3. 計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
4. 市の産業振興に関する諸計画と産業間の連携・・・・・・・・ 3

第2章 松浦市の中小企業を取り巻く現状

1. 松浦市の人口動向・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
2. 松浦市の産業の現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

第3章 松浦市の産業振興の課題と今後の方向性

1. 松浦市の産業振興の主な課題（前ビジョンからの継続課題を含む）・・・・ 13
2. 松浦市の産業振興の方向性・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

第4章 松浦市の産業振興に向けた施策の方向性

1. まつうらの未来を支える産業の成長促進・・・・・・・・・・ 16
2. まつうらを元気づける新たな産業の創出・・・・・・・・・・ 17
3. まつうらの未来を担う人材の確保と育成・・・・・・・・・・ 17

第5章 松浦市産業振興ビジョン（改訂版）の推進

1. ビジョンの推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
2. マネジメントサイクルの推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

第6章 参考資料

- 松浦市中小企業振興基本条例・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

第1章 松浦市産業振興ビジョン（改訂版）の策定にあたって

1. ビジョン策定の背景及び目的

前回の「松浦市産業振興ビジョン」（R2～R6）は、それまでの商工業振興ビジョン（H26～H30）を検証するとともに必要な部分を見直し、本市の持つ優位性と様々な視点からの課題解決に向けて策定いたしました。

しかしながら、ビジョンの具現化に動き出そうとしていた令和2年4月、時期を同じくして新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るい、国内において感染法上5類に移行した令和5年5月までの約3年間、多くの施策が実行できないままの状況が続きました。

またこの間、社会活動や働き方改革など人々の価値観も大きく変容しました。「物流の2024年問題」と言われる時間外労働時間の上限960時間問題や「外国人技能実習生制度見直し」など労働力問題、人手不足問題が大きくクローズアップされ、ますます少子高齢化時代において、いかに雇用を確保し魅力あるまちづくりを進めていくかが大きな課題となっています。

混沌とする出口の見えない国際情勢や地球温暖化にみる脱炭素社会への動向、コロナ禍を契機としたサプライチェーンの混乱など、厳しく目まぐるしく移り変わる時代の潮流の変化は、地方都市においても見過ごせない視点であるといえます。

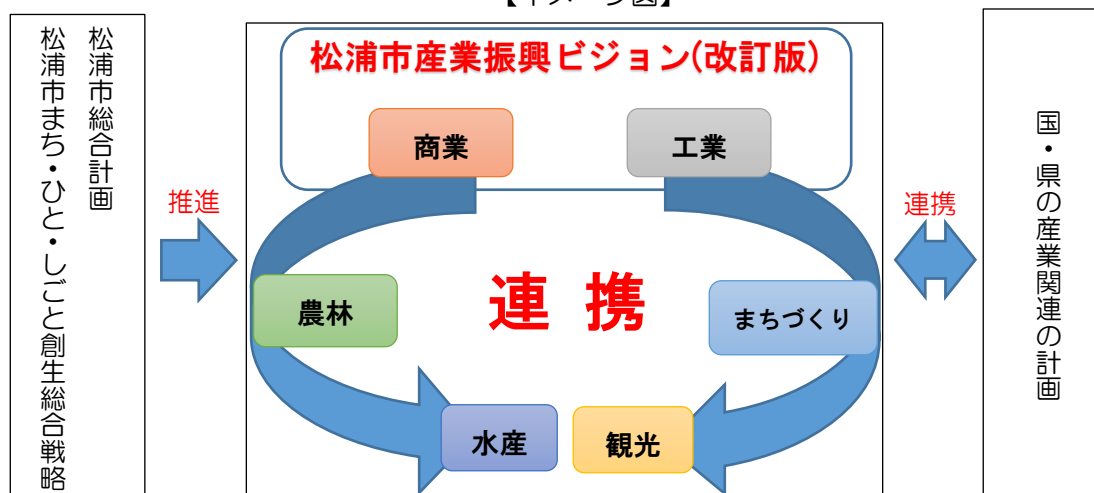
よって、今回のビジョンを策定する目的は、このような時代を見据え、前回の産業振興ビジョンから約3年間コロナ禍で実行できていない施策の再考と継続実施という観点から、前ビジョンの改訂版として位置づけるとともに、中小企業、商工業振興により重点を置いたものとし、時代に応じた新たな施策を反映させて策定することとします。

2. ビジョンの位置づけ

「第二次松浦市総合計画」では、基本理念を「育つ、つながる、根をおろす」と定めるとともに、将来像を「（１）学び育てるまち、（２）誇れるまち、（３）仕事をつくるまち、（４）未来へ続くまち、（５）安心、幸せのまち、（６）皆でチャレンジするまち」としています。また、「第三期松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、基本姿勢を「住みたい・住み続けたいまち 松浦」と定めるとともに、基本目標を「１．しごとの創生、２．ひとの創生、３．まちの創生」としています。

本産業振興ビジョンは、これらの上位計画を基本としながら「第二次松浦市総合計画」の将来像の一つである「（３）仕事をつくるまち」を推進するための実施計画と位置づけます。

【イメージ図】



●第二次松浦市総合計画（抜粋）

1. 基本理念 <育つ、つながる、根をおろす>

【育つ】

松浦の将来を担う、子どもたち。松浦の未来を担う存在となる彼らを育てていく。大人世代は皆大事だと感じていること。と、ともに、背中を見せる、教える立場の大人たちも共に育つことも大事。皆が皆を育て、自分も育つことができれば、住んでいる地域も育つ、産業も・・・そして、それが松浦を元気にしていく。

【つながる】

松浦には特色のある地域が存在する、いろんな年代の人が住んでいる、いろんな産業がある。そこには良いところ、悪いところ、強いところ、弱いところがあるだろう。長所を伸ばし、短所を補う、皆が考えて、知恵を出し合えば、いろんなチャンスをつかめるし、困難も乗り越えられる。「無理だろう・・・」と諦めたことも実現できるかもしれない。つながることも大事だけど、自分がつながられる存在になることも大事。

【根をおろす】

松浦が未来へ続くためには、松浦に根付く人がどれだけいるか。根付く産業がどれだけあるか。この視点を忘れてはいけない。就職時に希望する職種がなく、また、大学進学のため自然と松浦から出ていく・・・高校、中学からでも将来を見据えて他の自治体へ移る場合も少なくないかもしれない。もしかしたら、今、松浦で働いていても、松浦では暮らしていない人も少なくないかもしれない。松浦に住み暮らす人が増えることはもちろん、そういう松浦にルーツがある人、松浦の外で松浦のことを思いながら、活躍してくれる人を増やしていくことも大事。

2. 将来像

（1）学び育てるまち

- 方向性
- ・安心して子育てができる環境を目指します
 - ・充実した教育が受けられる環境を目指します
 - ・世代や地域を越えて、皆が学べる環境を目指します

（2）誇れるまち

- 方向性
- ・ふるさとの宝を磨き、輝かせ、次世代へつなぐことを目指します
 - ・感じたい、訪れたいと思えることを目指します

（3）仕事をつくるまち

- 方向性
- ・日本や世界を支える産業が生まれ、育つ環境を目指します
 - ・皆が松浦の産業を理解できることを目指します

（4）未来へ続くまち

- 方向性
- ・住みたい、住み続けたいような環境を目指します
 - ・戻って来たいような環境を目指します

（5）安心、幸せのまち

- 方向性
- ・皆が分け隔てなく、快適で幸せに暮らせる環境を目指します
 - ・仕事や生活のための基盤が整っている環境を目指します

（6）皆でチャレンジするまち

- 方向性
- ・ひとが集い、語り合い、つながることのできるコミュニティを目指します
 - ・誰もが認め合い全員でチャレンジできる環境を目指します
 - ・小学校区を対象とした協働によるまちづくりを目指します

●第三期松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略（抜粋）

基本姿勢：住みたい・住み続けたいまち 松浦

基本目標：1. しごとの創生

- （1）既存の魅力ある産業を育て、就業の機会を創出します。
- （2）新たな雇用の場を創出するとともに、就業支援を充実させます。
- （3）交流人口を拡大します。

2. ひとの創生

- （1）結婚・妊娠・出産・子育ての包括的な支援を行います。
- （2）学校教育、生涯学習、文化・スポーツ活動などの学びの場を充実させます。
- （3）若者の域外流出に歯止めをかけ、本市への還流を推進します。
- （4）移住定住、関係人口創出・拡大のための取組を推進します。

3. まちの創生

- （1）年齢や障害の有無にかかわらず、安心して生活できる地域をつくります。
- （2）住宅の確保への支援や既存ストックの活用、インフラの整備など住みやすい環境の整備を行います。
- （3）対話と協働によるまちづくりを推進します。

3. 計画期間

前回の産業振興ビジョンから約3年間コロナ禍で実行できていない施策の再考と継続実施という観点から、前ビジョンの改訂版として位置づけ、本ビジョンの計画期間は、期間延長という考えから、令和7年度から令和9年度までの3年間とします。

なお、今後の社会経済情勢の変化や施策の進捗状況等も踏まえ、ビジョンを変更する必要がある場合は見直しを行います。

4. 市の産業振興に関する諸計画と産業間の連携

前回のビジョンにおいては、農林業、観光物産業、水産業等においても産業間の連携を目指し、多くの施策を明記してきました。

しかしながら、以下に示すように各分野においてはそれぞれの計画において具体的な施策の展開が図られていることから、本ビジョンにおいては、産業間の連携は図りつつも、より中小企業、商工業振興に重点を置いたものに再調整します。

産業間の連携として、他計画との連携、情報の共有をより努めてまいります。

- ・農林業：農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
 農業振興地域整備計画
 森林整備計画
 木育推進計画
- ・観光物産業：観光地づくり実施計画（松浦市観光振興推進協議会 R3.9～R8.8）
 産品戦略（松浦の極み）
- ・水産業：浜の活力再生（広域）プラン
- ・その他まちづくり：まち・ひと・しごと創生総合戦略
 都市計画マスタープラン（立地適正化計画）
 景観計画
 空家等対策計画 e t c